

令和3年度学校・家庭・地域連携サポート事業

地域学校協働研修会（会津地区）

福島県教育委員会（会津教育事務所）

〈日 時〉 令和3年10月19日（火） 13:30～16:00

〈会 場〉 会津若松市北会津公民館

〈参加者〉 40名

講義・演習 「地域で創る魅力ある放課後子ども教室」

講師 東京家政大学人文学部教育福祉学科 准教授 宮地 孝宜 氏

講義 子どもにとっての放課後活動の意義を理解するとともに、より充実した「放課後子ども教室」の実践を行うためのヒントの提示

- 学校教育はもちろん地域で様々な体験を通して「学びに向かう力、人間性など」、「思考力、判断力、表現力など」、「知識及び技能」の3つの力をバランス良く育みたい。
- 放課後の時間は小学校6年間で2100時間＝約87.6日間の貴重な時間を子どもたちの成長のために使いたい。
- 放課後においても経済的な格差、文化的な格差がある。ずっとテレビがつけっぱなしの家庭、読書をする家庭もある。放課後子ども教室は、どの家庭にも豊かな体験、交流を提供することができる。
- 地域（自然環境・他者〔子ども〕・他者〔大人〕）を生かすことにより、地域の教育力が向上する。



【准教授 宮地 孝宜 氏】

【受講者の声】

- 放課後子ども教室の活動に取り組んでいるが、今日改めて活動の意義や留意点について再確認することができた。
- 人とのつながり、コミュニケーション能力を高める重要性を再確認することができた。

演習 KPT 法（効果的な振り返りをするための実践方法）を活用して、魅力ある放課後活動を提供するための実践可能なヒントを探る

- KPT 法
 - ①活動を思い出す
 - ②うまくいっていること(Keep,Good)
 - ③不満点(Problem)
 - ④原因を検討する
 - ⑤改善点を考える
 - ⑥試してみたいことを考える(Try)
 - ⑦試すことを選択する
- 個人ワーク ①Keep,Good を考える ②Problem を考える ③Tryを考える
- グループワーク 他地区の参加者と交流しながら、①Keep,Good②Problem③Tryを発表

【受講者の声】

- KPT 法により、これまでの活動を振り返る機会となった。問題点ばかりに目を向けてしまう傾向にあったが、「よい点、できている点」等に目をむけられたことが何よりよかった。
- 放課後子ども教室を実施することだけで終わらず、反省し、改善を図ることが大切だと思った。



【グループワーク (KPT 法)】